

番号	7	水害復旧記念碑 川上村長 大山利八書		
所在地	佐賀市大和町東山田 平田地区			
災害別	昭和２０年（１９４５）枕崎台風水害、昭和２４年（１９４９）ジュディス台風水害			
目的別	記念碑		建立年	昭和３０年４月１０日
特記事項				



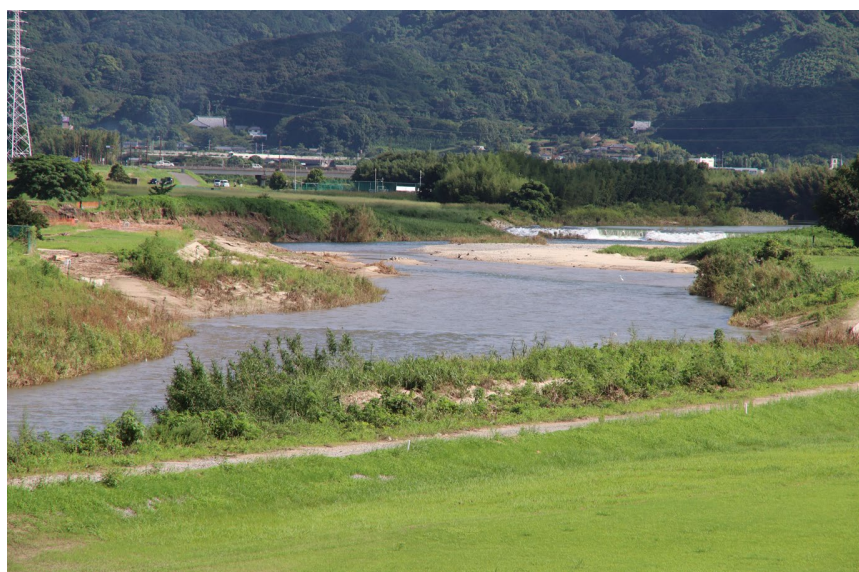
昭和20年の枕崎台風による犠牲者を祀る「二十菩薩」の碑（別項）に並んで昭和24年の水害復旧記念碑が建てられている。昭和20年9月の枕崎台風で大きな被害を受け、その復旧も完了しない昭和24年8月、佐賀県はジュディス台風により再び大きな被害を受けた。ここ平田地区でも嘉瀬川の堤防決壊により再び甚大な被害を受けた。碑には復旧に取り組んだ苦勞と後世への教訓が記されている。

「碑文 昭和二十年九月平田橋々頭以南の堤防決潰死者二〇人流家九戸耕地の大半尺以上の土砂に埋没され其の復旧も未完遂であつたのに又又二十四年記念碑東方以北決潰して流入土砂於保附近尺余碑附近五六尺に及んで全く沙漠そのまま耕地の荒廢極度に達して平田部落も此度は復旧も出来るまいとの世評を受けた位で米一粒もとれなかった啞然たらざるを得なかった部落民は埋没耕地の境界全く不明の爲め区画整理配分し合つて明日の生活に窮しながら土方賃稼ぎに耕地排土生地に臥薪嘗胆の苦に堪え復旧に精進すること十年近く然愛堤心は非常に強められて廿八年全橋頭附近の対岸決潰の際は当岸も半決潰間一髪のところ喰ひとめて三度目の水害を免れた後の人よ天災は忘れた頃に来るの言を心に秘め

堤防に関心を強く持たれて再び斯る悲惨な目に合はぬ様祈って復旧を記念する為一基を建
つ嗚呼 昭和卅年 月吉日 平田区」



国土地理院電子国土 Web



渡瀬橋から嘉瀬川上流を見る